

## 学校教育目標

### 自立する生徒

～イメージ豊かに創造しよう～

- ・意欲を持って学習する人
- ・正義を重んじる人
- ・共に生きる人

# 城山中だより

No. 1 O

令和7年5月16日  
綾瀬市立城山中学校  
校長 熊本 丈力

今年度から、毎月の朝会の校長講話をこの城山中だよりで掲載します。

5月朝会 校長 挨拶より

## 挨拶

～互いを尊重し、認める学校に～



今日、朝起きてから今まで、何回挨拶をしましたか。「おはよう」、「いただきます」、「おはようございます」など、他にも「ありがとう」「すみません」など、様々な挨拶があったことでしょう。

ところで、あいさつという字は漢字でどのように書くのでしょうか。「挨拶」となります。元々は禅、禅宗の言葉だったといわれ、挨には「押し開く」拶には「迫ること」という意味があるようです。師匠が弟子に迫って悟りを試す、あるいは修行をしている人同士が問答を繰り返して切磋琢磨するというのが本来の意味でした。これが転じて、「人に近づき、心を開く際の言葉や動作」を示すようになりました。挨拶は言葉だけではなく、声に出さなくてもお辞儀や会釈といった動作も一緒に行われますね。

では、なぜ人は挨拶をするのでしょうか。その意味は、挨拶をしてあるいはされて嫌な気持ちになる人はいない、そのことに答えがあると思います。

挨拶をするとよいことがおこります。以前、教えていた生徒に「挨拶をするとどんなよいことがあるか考えてみましょう」と聞いてみました。

その結果、①気持ちが良くなる。②元気になる。③人に話しかけやすくなる、会話のきっかけになる。ほかにも、相手の様子を確認できる、生活にけじめがつく、相手とつながっていると感じる、たくさんの人と知り合える、明るい子 良い子だと思われる、仲良しになれる、人に関心を持つようになる、などいろいろなことがあると答えてくれました。

つまり、まとめると、挨拶の意味は、①心を開いて相手に近づく②相手を認め、思いやる ③お互いに良い気持ちになるなど、つまり、挨拶は人と人をつなぐものなのです。

たかが一言の挨拶ですが、相手に与える印象は大きく違います。ぜひ城山中学校の生徒の皆さんは日常的に挨拶をいっぱいしてほしいと思います。どちらから先ということはありません。相手の存在に気が付いた方からすればよいと思います。私はこの城山中学校の生徒同士、生徒と先生方、あるいは本校に来校されたお客様への、これまで以上にしっかりと挨拶ができる学校になってほしいと思います。挨拶がしっかりできる学校、それは互いの存在を認め合い、尊重することができる学校ということになり、そこにはいじめや暴力はない学校と考えます。私もこれから積極的に挨拶したいと思います。場面によっては、声を出さなくても、お辞儀、会釈だけでも良いかと思います。たった一言の挨拶で自分も周りの人たちの心がお互いに明るくなり、和やかになるとしたら、私たち自身の日々の暮らしもより心豊かなものになっていくはずです。今日は挨拶について話しました。

